

# 週報



2016 年 年頭標語

創造主、天の父母様に似た、  
真の愛を実践する  
天一国の真の主人になろう！



世界平和統一家庭連合

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION  
(旧 世界基督教統一神霊協会)

加賀家庭教会

教会長：石垣 重広

## み言

### 「宗教は墮落人間の修理工場」

真の父母經 P1244～

**10** 宗教は、天地創造の原則に符合する天倫の道理に従っていきます。すなわち、唯一の神様が天地万物を創造され、一つの目的の世界に向かって摂理してこられるので、その方向に向かって進むように教えるのが宗教です。

ですから、宗教は肉的生活全体を否定します。仏教もそうであり、キリスト教もそうです。次元の高い宗教であるほど、「否定しなさい」というものが多いのです。聖書の言葉も、そのようなことを教えてくれています。墮落した人間は、神様とそのままで一つになれません。完全な解放を受けなければなりません。一つの目的を追求する人間につくり変えられなければならないのです。そのため、宗教が必要だということです。

私たちは、盲目的な宗教生活をしてはいけません。神様は必ず公式的な法度を通して摂理されるので、その公式を知らなければなりません。このような公式的な法度を教えてくれる所が統一教会であり、このような公式的な法度が入っているのが統一教会の教えです。統一教会の教えは、過去から現在まで、**復帰摂理歴史**がどのようにつながってきたかを、はっきりと教えてくれています。これが統一教会の教えの中で最も重要な内容です。

**11** 宗教は何をする所かと言えば、人をつくり変える所です。どのようにつくり変えるのでしょうか。体と心が永遠に争わない平和の場で、天宙の大主宰を代表する一つの相対的資格と、実体的神様のような人格的資格をもって、永遠無窮に変わらない人間としての価値をもつ生涯を享受できる人間をつくらうということです。これを、人間だけがするのではなく、神様と合同作戦を行って完遂しようというのが宗教です。

**13** 真の愛さえ臨めば、体と心は自動的に一つになります。神様の愛が臨むようになれば、体と心が完全に一つになるのです。神様は、このような原則を中心として人間を救うために、宗教を立ててきました。宗教世界は、間違った人間を修繕する修理工場です。部品を作り、故障したものを直すためのものが宗教です。宗教の教えは、体と心を一つにすることに主眼を置いています。いくら修道をし、研究をしても、体と心を一つにしなければ、すべて壊れていくのです。十年どころか、千年努力したとしても、水泡に帰すのです。このような人間の体と心を、どのように統一するのでしょうか。それを教えてくれた聖人がいませんでした。「私」の体と心を一つにできるのは、真の愛です。神様の真の愛と、なぜ接することができなかつたのかが深刻な問題です。

**16** 世界の文化圏は、宗教思想圏と宗教文化圏から成り立っています。すべての文明の発源地は、宗教です。文明は、宗教を基盤として出てきたということです。この宗教が、修理工場の責任を担ってきました。そのため、世界は、四大宗教文化圏内にすべて包含されています。この修理工場で腕と脚と首と頭を造ったとすれば、組み立てなければなりません。ですから、この全体を組み立てる総合工場がなければなりません。その総合工場が、統一教会です。

今日、このような状況で、宗教を統一しなければならないという看板を掲げて現れただけでも、素晴らしいことです。ですから、統一教会に、仏教を信じていた人も入り、キリスト教を信じていた人も入り、儒教を信じていた人も入ります。また、宗教を信じていなかった人も入ります。それゆえ、統一教会は総合宗教です。総合的に組み立てるのです。名実共に、**総合修理工場**になったのです。